

名古屋市長 河村たかし様

ラブリーアース J a p a n
相生山の四季を歩く会 事務局 古川善嗣
名古屋市南区豊 4-22-10 tel/fax : 052-821-6463

「市道弥富－相生山線建設計画」への提案書

I 相生山緑地の道路予定地は大都会に残された生物多様性の象徴・基地的存在として位置づける。

II 相生山緑地に生育するすべての“種”の“暮らし”、その本来の生態を生育場所・生育環境を破壊することなく、まるごと保全し、観察・学習・体験・いこいの場として活用する。

1 具体的には例えば

- 1) 新たな散策路は、環境を破壊するので、最小限にとどめる。
- 2) 自転車などの車両は入れない。
- 3) 植林・植栽はしない。自然の遷移に任せ、裸地→極相林への学習の場とする。
- 4) ネイチャーセンター・展示施設などを建設するなら、エコシステムを取り入れ、その見学もできるようにする。地下鉄など公共交通機関から近い場所が望ましい。
 - ①ソーラーパネル（太陽光）・風力などによる発電
 - ②雨水利用のトイレ
 - ③薪ストーブ暖房 ← 緑地内で調達できないか？
 - ④木造建築 ← 「道路予定地」人工林のヒノキ間伐材は？

2 建設済みの「道路」部分は、原状復帰が望ましいが、財政的困難が伴うなら、全体を「ESD2014 モニュメント」として保存管理する。

さらに、

1) シェルター部

- ①森の観察地点
- ②散策休憩場
- ③憩い・語らいのベンチ
- ④トイレの併設は不可能か？

2) 下山畑からの開口部

- ①散策路を残し閉鎖
- ②駐輪場——緑地の自然保全の観点から駐車場は設置しない。
- ③（小規模な）案内人駐在所
- ④トイレ、休憩所

3) 相生口からの開口部

- ①入り口のみ駐車場（現状の2倍程度に限定）
- ②ヒメボタル鑑賞時のみ、奥（西方向）20台程度の駐車場として開放できるように維持管理。
- ③舗装面ははがして、上記以外は裸地に戻す。
- ④上記③を市民農園として活用も可能？
- ⑤一部は上記1-4) 項、ネイチャーセンター用地とすることも可能か？

以上